



YAコーナーでは隔月特集展示をしています。3・4月展示は「知っていますか？お釈迦さまの誕生日」です。



お釈迦さまの誕生日は旧暦の4月8日、「花まつり」として知られています。

お堂を花で飾ったり、小さな釈迦像に甘茶をかけたたりしてお釈迦さまの誕生を祝います。やったことがある人もいるのではないのでしょうか？

3・4月は身近すぎて、気が付いていないこともある「仏教」にまつわる本を集めてみました。

あの行動、あのことわざ、あの言葉、実は全部仏教から来ているのかも？この機会に手に取ってみて下さい。

5・6月の展示テーマは「やってみよう！」をテーマとして予定しています！  
リトマスで紹介した本以外にもたくさん本があります！  
所蔵している本のお問合せはスタッフまで！  
また下記ホームページから検索が可能です。

苫小牧市立中央図書館  
【開館時間】9:30～20:00

【休館日】毎週月曜日（祝祭日は開館）  
月末金曜日・年末年始

〒053-0011

北海道苫小牧市末広町3丁目1番15号

連絡先 Tel 0144-35-0511 Fax 0144-35-0519

✉ E-Mail: [info@tomakomai-lib.jp](mailto:info@tomakomai-lib.jp)

ホームページ: <http://www.tomakomai-lib.jp>

ワイエーツウシン リトマス: 編集・発行  
苫小牧市立中央図書館 指定管理者  
TRC苫小牧グループ ヤングアダルト担当  
2020. 04. 15発行



次月号は、



リトマス

ワイエーツウシン

ニセンニジュウハル

中央図書館

NO.20

## 「文豪ストレイドッグス」

朝霧 カフカ／著 KADOKAWA／出版  
2014.04／発行 BF ア

漫画『文豪ストレイドッグス』の  
二年前を描く外伝的作品です。さすが  
予備知識なくこの小説から読んでみ  
たらハラしたり、ビックリしたりでき  
るよう工夫されています。

(本文より抜粋)

## 闇が蠢く横浜で、“異能力”対決、開幕!!!

## 「文豪ノ怪談ジュニア・セレクション 獣」

太宰 治／著 宮沢 賢治／著 ほか  
汐文社／出版 2016.12／発行  
913 フ

「夢」「恋」「霊」「獣」「呪」など  
テーマごとに、古今の文豪たちが手がけ  
た「怪談」——怖い話や不思議な話を通  
じて、日本文学の奥深い魅力に親しんで  
もらうことを目的にした、文学ビギナー  
向けのアンソロジーシリーズです。

(本文参照)

## 「文豪の素顔」

高橋 敏雄／監修 田中 景子／監修  
エクスマレッジ／出版  
2015.07／発行 910.26 フ

## 「文豪図鑑完全版」

開発社／編 自由国民社／出版  
2017.03／発行 910.26 フ

写真とイラストの違いはあれど、  
どちらも文豪たちの素顔に迫る一冊です。  
見比べてみるのも面白いかもしれません。



## 「夢十夜」

夏目 漱石／著 しきみ／絵  
立東舎／出版 2018.12／発行 F ア

不朽の名作が、いま新たによみがえる。  
文豪たちとイラストレーターたちの珠玉の  
コラボレーション!

小説としても  
画集としても楽し  
める、乙女の  
本棚シリーズです。

(TRCMARC参照)



# 「桜の樹の下には死体が埋まっている」

さて、上記の言葉を耳にしたことがある人も多いことでしょう。  
その他にも例えば「I LOVE YOU」を「月が綺麗ですね」と訳した話。  
ではその元ネタは？実は文豪さんたちが生み出していました。

## 名作文学をライトにリライト!

### 「邪宗門」

芥川 龍之介／原作  
駒井 和緒／文 講談社／出版  
2015.02／発行 913 シ

芥川龍之介の未完の大作を大胆  
にアレンジ。学力優秀だが他人の  
気持ちがわからない聡が、平安時  
代にタイムスリップ。そこで、美  
しい容姿で毒舌の若殿と、一本気な貞光とともに、  
京を騒がす法師との法カバトルに挑むことに…。

(TRCMARCより引用)



### 「世界の文豪の家」

阿部 公彦／監修 ほか  
エクスマレッジ／出版  
2016.08／発行  
902.0 ヤ

あの名作はどのようにして生まれたのか？  
エドガー・アラン・ポー、ウィリアム・  
シェイクスピア、ヴィクトル・ルゴーなど、  
世界の文豪たちの家を訪ね、創作活動とそ  
の現場を写真や年譜とともに紹介する。

(TRCMARCより引用)



### 「文豪どうかしてる 逸話集」

進士 素丸／著  
KADOKAWA／出版 2019.10／発行  
910.26 フ

素晴らしい作品を生む人間  
が必ずしも素晴らしい人間と  
は限らないし、またそうある  
必要もないのです。

(「まえがき」より引用)

読んだらもっと好きになる  
文豪たちのエピソード満載!

(本書帯より抜粋)